

国土交通省 令和5年度共創モデル実証プロジェクト  
「刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト」について



**KARIYA  
SMART CITY**

令和5年12月11日

刈谷市企画政策課みらい共創係

# 刈谷市のスマートシティ推進体制

## ○刈谷スマートシティ研究会(令和3年7月～)

トヨタグループ	(株)アイシン、(株)ジェイテクト、(株)デンソー、トヨタ車体(株)、(株)豊田自動織機、トヨタ紡織(株)
鉄道事業者	東海旅客鉄道(株)、名古屋鉄道(株)
通信事業者	NTTコミュニケーションズ(株) (旧：(株)NTTドコモ)、西日本電信電話(株)
病院	(医)豊田会 刈谷豊田総合病院
行政	愛知県、刈谷市

## ○刈谷市スマートシティ推進協議会(令和4年10月～)

上記研究会に加え、新たに追加された会員

エネルギー事業者	東邦ガス(株)、中部電力パワーグリッド(株)
建設事業者	角文(株)
その他	中央コンサルタンツ(株)、刈谷商工会議所、フジ地中情報(株)



# 刈谷市スマートシティ構想

(令和5年3月策定)

➤ 刈谷市スマートシティ構想は、先端技術等を活用して地域の課題解決につなげ、暮らしを豊かにするスマートシティの取組の推進に向けて、目指すべきスマートシティの方向性を定めたもの。



# 【刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト】事業概要

## 取組の概要

### (現状の地域課題と事業目的)

- 児童の93%が習い事を行っているが、**利用できる公共交通が十分でなく、保護者の送迎に依存している**。【事前アンケートから】
- 保護者の約8割は送迎を負担**に感じているほか、送迎の負担が要因で**希望する習い事をさせてあげられない実態**がみられる。【事前アンケートから】
- 保護者からは現在の放課後児童クラブに加えて、**より質の高い教育を受けさせたいニーズ**がみられる。【事前アンケートから】
- そこで、**送迎交通サービスと学校外教育サービスを統合して提供し、「モビリティの充実と、児童誰もが学べ、多様な体験や社会に触れられる環境により、“子育て世代にやさしい”刈谷市**を目指す。

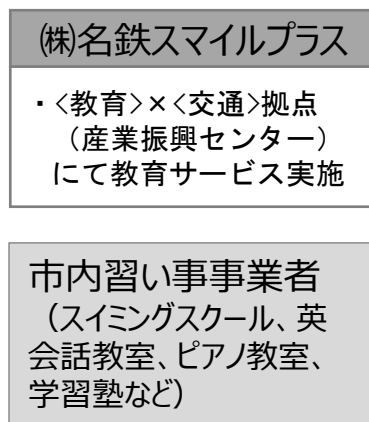
※国交省 共創モデル実証プロジェクトに採択

### (事業の概要)

- 児童および保護者のニーズに対応するため、**教育**（〈教育〉×〈交通〉拠点）と**交通**（子ども相乗りタクシーを導入）の一括したサービスを提供する。
- 交通サービスの採算性向上や子どものモビリティ向上の視点から、教育サービスとの一括提供の効果を検証する。

## 事業の全体像 共創の仕組み

### 教育サービスの提供

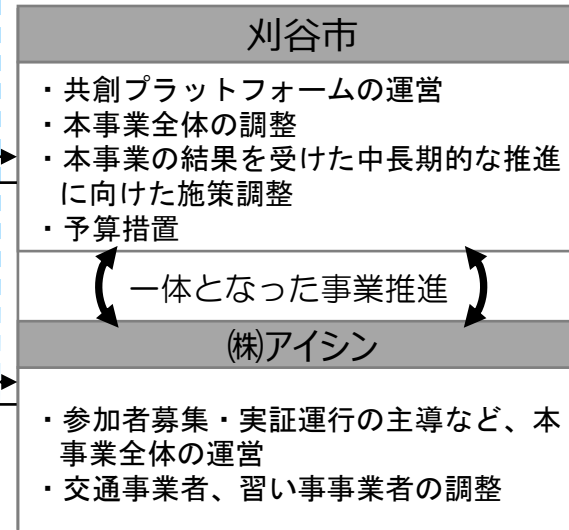


アフタースクール事業の提供

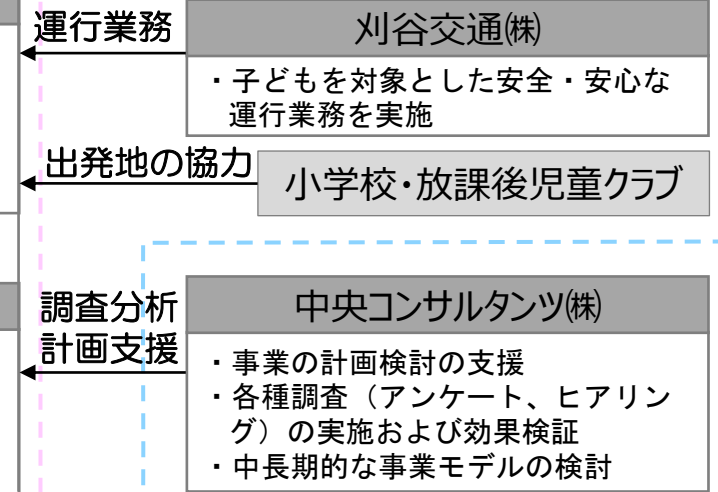
公共施設の提供

到着地の協力

協力依頼



### 交通サービスの提供





# 【刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト】事業概要

## 取組の詳細

### (実証事業の内容)

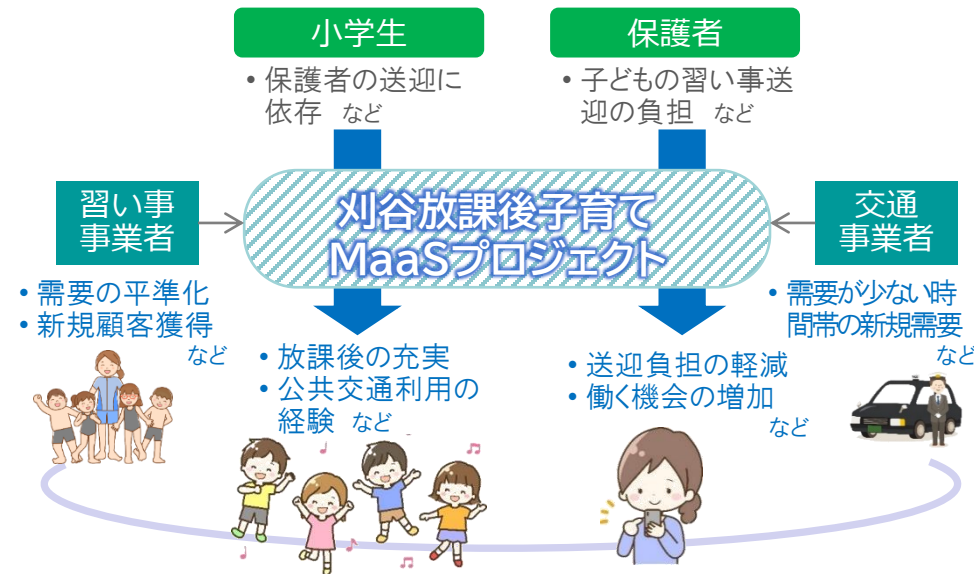
- ・市中心部の2小学校区の児童を対象に、「小学校」⇔「〈教育〉×〈交通〉拠点」⇔「習い事先」⇔「自宅」の間を結ぶ、子ども相乗りタクシーを導入する。【右図参照】
- ・「〈教育〉×〈交通〉拠点」では、教育プログラムを実施し、学校外教育が受けられる環境と、居場所機能を確保する。
- ・専用アプリ（WEB版）を開発し、教育・交通サービスの予約は、保護者より行う。
- ・利用可能時間帯は**平日の15時～19時**とし、**利用料金は無料**とする。
- ・実証期間は、**令和6年1月15日（月）～2月16日（金）までの平日**。  
（うち2月5日（月）、6日（火）、14日（水）は実証を実施しない）

### (事業スケジュール)

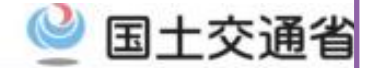
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 企画・調整	←→					
2. 参加者募集		←→				
3. 実証運行				←→		
4. 各種調査		←→ 調査企画		←→ 調査		
5. 分析・効果検証					←→	
6. 実績報告						●

### (今後の展望)

- ・今年度策定予定の刈谷市地域公共交通計画の基本方針等を踏まえ、本事業は市内全域への展開を検討している。
- ・2024年度は、比較的人口集積が高く、習い事先も多く分布している「中部地域」において、継続的な社会実験（道路運送法21条に基づく実証運行）を行う予定である。
- ・「中部地域」での結果を踏まえ、2025年度以降は、本格導入や「北部地域」「南部地域」に広がっていくことを目指す。



## 「共創モデル実証プロジェクト」(令和5年度)の追加公募について



地域の多様な関係者の「共創」により地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクト等を支援します！

### 1. 共創モデル実証運行事業

＜ 特設ウェブサイトでは、第1弾(令和4年度事業)の取組み事例を紹介しています ＞

交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)<sup>※</sup>によりその維持・活性化に取り組む実証事業

※「官民共創」、「交通事業者間共創」、「他分野共創(交通と他分野の垣根を越えた連携)」

【補助対象事業者】 交通事業者等を含む複数の共創主体で構成される協議会や連携スキーム等  
(「共創プラットフォーム」)

【補助対象経費】 ・事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等  
・事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費  
・実証運行に要する経費

【補助率・上限額】 補助対象経費の2/3 (上限1億円)  
※実証運行など、交通サービスの運行を伴う事業であることが必要です。  
(次年度に実証運行を予定する事業についても対象とします。)

### プロジェクトイメージ (他分野共創の例)



医療×交通



介護×交通



エネルギー×交通



住宅×交通



教育×交通



農業×交通

事業に関与

自治体・金融機関

立ち上げ支援

共創モデル実証プロジェクト

刈谷放課後子育てMaaSプロジェクトとして、  
9月26日 追加公募に応募  
10月12日 採択